

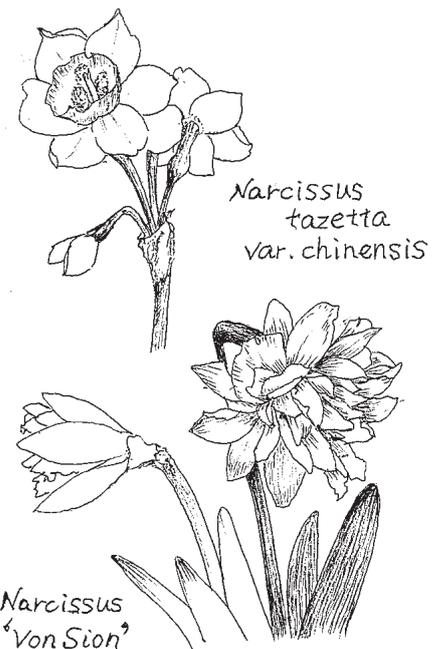
植物の再生力

冬季に雪に覆われる北海道では、耐寒性の弱い植物を室内で冬越しさせていると思います。そのような植物を今から増やして春に外植えするのも楽しいものです。身近な植物が根のないところから再生していく生命力を感じる事ができます。ゼラニウム、ベコニアなど、下葉が落ち徒長して形が悪い植物は、形の良いところで芽挿しで育て直すと良いでしょう。最低でも3節ほどあれば安心です。また勢いの良い部分を水ざししておくだけで出根するものもあります。種類によってはバラ、ローズマリー、八百屋で買ったバジルもセロリも根が出ます。水はマメに取り替えて。根が出た後は市販の種まき用土や培養土など重くない清潔な土で管理します。肥料などはよほどの事が無い限り定植するときでも間に合うので控えてください。まずは育てている植物に見合った日光と温度、水の管理に努めて根を育てましょう。育った時の感動が違うものです。(きのした)

スイセン

スイセンは地中海沿岸域に約30種が自生している球根性植物で園芸品種は2万種を超えられています。代表的な品種にはラッパスイセン、八重咲スイセン、房咲スイセン、口紅スイセンなどがあります。ニホンスイセンは日本で古くから親しまれてきた房咲きのスイセンで、一本の茎に香りのある花をいくつつけるのが特徴です。副冠(花の中心の部分)は黄色ですが、他の花弁は白色です。平安時代末期に中国を経て伝来されたといわれ、本州の関東地方以西、四国、九州の海岸では野生化し群生地では美しい景観をつくりあげています。北海道では黄色い八重咲の古い園芸品種、「フォンシオン」(Von Sion)が古くから育てられ野生化していて離農地や神社などに残っていたりします。スイセンには全草に毒があり、野ねずみや動物の食害がなくて多く残ってきたのかもしれませんが、もちろん人間にも毒なので食べると下痢やおう吐などの中毒症状を引き起こします。毎年のようにニュースになるのがニラと間違われて食べてしまうことで葉の形は似ていますが、ニラの葉には強烈な匂いがありスイセンにはありません。(いとう)

今月の便り



クリスマスローズ

クリスマスローズは様々な花姿を目指して交配が行われているため、株ごとに草姿や花色模様などが異なり、多くは品種名がありません。クリスマスローズはキンポウゲ科ヘレボルス属の植物です。日本ではニゲルだけではなく他の原種も含めヘレボルス属の仲間全てをクリスマスローズの和名で呼んでいます。交配種は主にタネで増やされている為一株毎に特徴が異なり、多くは園芸品種名がついていないことから、店頭では「クリスマスローズ」として販売されるものが多いのです。近年は、育種家の方々のオリジナルの品種も数多く作出され園芸雑誌やHPなどで話題になり、販売されています。夏は、半日陰、冬は日当たりの良いところが好きです。北国の私達は雪の下で冬越しして雪どけまで楽しみに待ちます。前年のうちに、鉢上げ管理していた株は、丁度この時期に可愛らしい花姿を楽しむことができます。色彩館では一足早く、クリスマスローズや冬咲きクレマチスなどの開花が始まり、来園者の方々も笑顔で散策し春を待ちわびています。(たかはし)

緑の相談コーナー Q&A

「葉もの野菜」「実もの野菜」「根もの野菜」に見られる症状と原因対策
「葉物野菜」編

- | | | |
|--------|----|---|
| レタス | 症状 | 成長点の中心の葉が弱りやがて黒くなり枯れる。 |
| | 原因 | 畑の土壌の酸性度。肥料の与え過ぎ。生育時期の乾燥。 |
| | 対策 | 土壌酸性度の調整。適度の肥料施用。土壌の乾燥防止。 |
| | 症状 | 葉の縁が褐色になり生育が遅い。 |
| | 原因 | 窒素・カリ肥料の与え過ぎ。高温。乾燥。石灰の不足。 |
| | 対策 | 土壌酸性度の調整。肥料の与え過ぎ。乾燥をおさえる。 |
| ネギ | 症状 | 葉の先から枯れていく。 |
| | 原因 | 水分の過剰吸収。 |
| | 対策 | 畑の排水をよくする。リン肥料をあたえる。 |
| カリフラワー | 症状 | 生育最終時期の花蕾の表面が緑・ピンクに色がつく。 |
| | 原因 | 花蕾の表面に日光が当たったため。 |
| | 対策 | 花蕾をまわりの外葉でしっかり巻き・縛って日光が当たらないようにする。遮光ネットも効果あり。 |
| キャベツ | 症状 | 葉の縁が褐色になり生育が遅い。 |
| | 原因 | 石灰の不足。窒素肥料の与え過ぎ。 |
| | 対策 | 土壌の酸性度の調整。適度の肥料施用。 |
| ハクサイ | 症状 | 生育時期に茎が割れる。 |
| | 原因 | 畑の土壌の乾燥。ホウ素の不足。 |
| | 対策 | 畑の高温・乾燥をおさえる。土壌の酸性度の調整。 |

ちょっと
いっぷく



ひとつき ひとバラ



文：堀内琴水
(いわみざわ公園バラ園)



第二百二十三回

シュラブローズ

キャンディアメイディランド

Candia Meidiland

作出国：フランス

作出者：LFrancis Meilland

作出年：2006年

ハーディネスゾーン：Z6 四季咲き

交雑：(Route Max Craef × Seeding) × (Pink Meidiland × Grouse Immensee)

降雪量はだいぶ減ってきましたが先月、先々月に積もった雪の下で頑張ってくれているバラたち、雪の中は暖かいといいますが、それとは別に雪の重みに耐えなければいけません。園内のほとんどのバラは雪囲いをして守られながら冬を耐え忍んでいます。ですが、中には雪囲いをせず己の身だけで雪の重みに耐えるバラたちも居ます。今回は、持ち前のしなやかさで雪の重みに耐えるキャンディアメイディランドをご紹介します。キャンディアメイディランドは、フランスで有名なナーセリーのメイアン社が修景バラとして作出したメイディランドシリーズの一つで、2006年にフランスメイアン氏によって作出されました。メイディランドシリーズ全体の特徴として耐病性、耐暑性、耐寒性に優れていてキャンディアメイディランドは2008年にADR賞を受賞しています。又、枝が柔らかく横這いに広がる特徴があり、このような枝の性質によって雪が積もっても枝がしなり折れにくくなっているのです。当園ではそのまま使っているキャンディアメイディランドですが、半つる性でフェンスやトレリスに巻き付けることも出来ます。植えて2年目の

時点で株が密の状態になり、大きさに加え目立った病気がなく葉も茂っていた為グラウンドカバーとして効果を発揮していました。高さが腰丈まであるのでちょっとした目隠しにも最適かと思えます。一重咲きなので花びらが散るのは早いですが、房咲きで次々と花芽を付けるため長期間楽しむことが出来ます。花びらの色は表が赤、裏が白色で花の中心も白色です。そのため咲き始めは黄色い蕊がよく目立ちます。濃い緑の葉ともカラーバランスが取れていてとても相性よく感じます。香りは微香と紹介されていますが、作業をしている際に香りを感じることはありませんでした。名前の由来も調べてみたのですが、詳しい情報は出てきませんでした。そのため赤と白の色合いがペロペロキャンディに似ているからと勝手に推測しています。今回紹介したキャンディアメイディランドは雪囲い不要、耐病性も高いことからお手入れの難易度が低く初心者の方におすすめです。バラを育ててみたいけど自信がない方、忙しくてお手入れに時間を掛けられない方でも気軽に育てることが出来ると思います。気になった方は是非この機会に育ててみてください。

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



●3月8日(土) 10:00～12:00 色彩館でスケッチしよう

参加費：無料 定員：15名 講師：藤川 志朗 さん
持ち物：筆記用具、スケッチブック、色鉛筆などの画材

●3月15日(土) 10:00～12:00 ばらゼミ①

参加費：無料 定員：40名 講師：古舘 杏奈 さん
持ち物：筆記用具

●3月23日(日) 13:00～15:00 家庭果樹の楽しい管理

参加費：無料 定員：40名 講師：吉田 昌幸 さん
持ち物：筆記用具

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<https://iwamizawa-park.com/>

※資料ご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申し込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3～4日位前までに
お申し込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しく下さい。